

LIP.横浜

キックオフイベント

日時

2016年

12月1日(木)

13:30 ~ 16:00

会場 横浜ロイヤルパークホテル

3F 鳳翔 A

(横浜市西区みなとみらい 2-2-1-3)

定員 150名

主催 横浜市経済局

LIP.横浜

プログラム

●開会 挨拶 「LIP.横浜の始動にあたって」

横浜市長 林 文子

国立研究開発法人理化学研究所 理事長

松本 紘

公立大学法人横浜市立大学 理事長

二見 良之



●LIP.横浜の概要 (横浜市経済局)

●講演

■「経済産業省の取組み、プラットフォーム事業に期待すること」

経済産業省関東経済産業局地域経済部長 三浦裕幸氏

■「医科学イノベーションハブ推進プログラムについて」

国立研究開発法人理化学研究所 医科学イノベーションハブ推進プログラム 副プログラムディレクター 桜田一洋氏

■「プラットフォームに対して研究・臨床現場から望むこと」

横浜市立大学学長 窪田吉信氏

※その他、協力企業による講演を予定 (調整中)

●閉会

※参加ご希望の方は裏面をご覧ください。

LIP.横浜

「プラットフォーム」とは

企業や大学、研究機関が連携し、横浜のライフイノベーションをさらに加速させる新たなエンジンです。

このプラットフォームによって、

①産学官金が連携したネットワークを構築し、革新的なプロジェクトを横浜から生み出していきます。

②市内のベンチャー中小企業が着実に製品化等を目指し、研究開発を進められるよう支援します。

今回、このプラットフォームを多くのライフ関係企業・機関の皆様と共にスタートします！！

キックオフイベントでは、中核を担う理研や市大、協力企業の中からこのプラットフォームへの期待やこの仕組みの中で進めようとしているプロジェクトについて、ご講演をいただきます (裏面参照)。

横浜から世界へ、
新しい「価値」の
発信を

イノベーションのその先をめざす

Yokohama Life Innovation Platform

LIP.横浜

横浜ライフイノベーションプラットフォーム



アステラス製薬、コニカミノルタ、サンスター、資生堂リサーチセンター、生命科学インスティテュート、武田薬品工業、中外製薬、ディー・エヌ・エー、パイオラックスメディカルデバイス、ファイザー、三菱プレジジョン、リコー、JVC ケンウッド、Meiji Seika ファルマ、理化学研究所、横浜市立大学、横浜国立大学、東京工業大学、慶應義塾大学理工学部、横浜銀行、日本政策投資銀行、日本政策金融公庫横浜支店／南関東創業支援センター、横浜キャピタル、TNP パートナース、リアルテックファンド、バイオインダストリー協会、横浜商工会議所、横浜市工業会連合会、木原記念横浜生命科学振興財団、横浜企業経営支援財団（順不同）

■「経済産業省の取組み、プラットフォーム事業に期待すること」 経済産業省関東経済産業局地域経済部長 三浦 裕幸氏



【略歴】平成 26 年産業技術環境局 基準認証ユニット計量行政室長就任。平成 28 年 6 月より関東経済産業局地域経済部長就任、現職。

【講演内容】経済産業省におけるライフサイエンス産業の振興に向けた取組みとして、『バイオ分野』におけるバイオベンチャーと大学・製薬企業等とのマッチングによる「新規事業創出支援」と、『医療機器分野』での医療機器メーカーへの事業化ニーズの創出・具現化から海外展開までの「ワンストップ支援の取組み」。また、ヘルスケア産業における、自治体や企業と連携した地域での「ヘルスケア産業創出支援」について、それぞれご紹介いただく。

■「医科学イノベーションハブ推進プログラムについて」



国立研究開発法人理化学研究所 医科学イノベーションハブ推進プログラム 副プログラムディレクター 桜田 一洋氏

【略歴】大阪大学大学院理学研究科修士課程修了。理学博士。協和発酵工業（株）を経てドイツ Schering 社リサーチセンターのセンター長（神戸）に就任。Bayer Schering Pharma(BSP) の日本研究部門統括、再生医療本部長、グローバル研究幹部会メンバー並びにバイエル薬品の執行役員リサーチセンター長を歴任。2008 年ベンチャー企業 iZumi Bio 社を設立、最高科学執行責任者 (CSO) に就任。同年ソニーコンピュータサイエンス研究所上席研究員。2016 年より理化学研究所医科学イノベーションハブ推進プログラム副プログラムディレクター。

【講演内容】計測技術の進歩に伴い身体の様々な特徴量が計測されるようになり、ビッグデータを解析する人工知能の技術も大きな進展を見せた。しかし、これらの技術を用いて社会的な価値を創出するには、人への深い理解が不可欠である。理化学研究所ではこの問題を解決するために新たなヒューマンサイエンスの取り組みを開始した。その一端を紹介し、LIP.横浜での展開についてご提案いただく。

■「プラットフォームに対して研究・臨床現場から望むこと」 横浜市立大学学長 窪田 吉信氏



【略歴】平成 13 年 6 月、横浜市大医学部教授に就任。同大学附属病院副病院長、同病院先進医療推進センター長、医学群長を経て 24 年 4 月、副学長。26 年 4 月より現職。医学博士。専門分野は泌尿器科学。

【講演内容】横浜市立大学の基礎から臨床までの一貫したトランスレーショナル・リサーチ体制について、『強み』や今後の方向性などをご紹介いただく。また、ライフサイエンス分野の研究所や企業、大学との連携を推進するための本プラットフォームへ期待することについてご講演いただく。

FAX での申込み

下記にご記入の上、このまま FAX にてご返信ください。ご返信用 FAX 番号：045 - 664 - 4867

会社名：	役職・所属：	お名前：
ご連絡先 TEL：		
E-Mail：		FAX：
住所：〒		

メールでの申込み

上記の内容を E-Mail：ke-lifePF@city.yokohama.jp にお送りください。